

ダンシング・クイーン

詞

作詞 : fuzzimari
作曲 : fuzzimari

流れるMelody 小粋なBeatで
懐かしいNumber 踊る足どりは

決まりのStep 悩ましい腰つきで
華麗に舞い上がる そうさお前は Dancing Queen

CuteなDressと 真っ赤なShoesで
揺れる口元 濡らすRougeで

真っ赤に燃え上がる お前の唇に
そっと触れただけで ボクの心は 躍るよ

WinkひとつHallに戻る お前
今夜Drive自慢の車に乗せて
夜明けが来るまで 二人のRendezvous

Coke片手に足を絡ませ
髪をほどいて やさしく微笑む

真っ赤に燃え上がる お前の唇に
そっと触れただけで ボクの心は 躍るよ

初めて感じた不思議な気持ちさ Loving you
胸がドキドキしちゃうぜ今夜は Happy night
Radioで流れる 二人のRhapsody

つぶやき...

そもそもこの曲も昔に書いたものです。
いや～懐かしい。

詞をみていただいたり、歌を聴いてもらえば分かると思いますが、元々は
男性が歌うつもりで歌詞を書いています。
操作お前は・・・とか
お前の唇に・・・とか・・・いい例ですね。

でも、初音ミクさんに歌ってもらいました。
(まあいいじゃないか、気にしない気にしない・・・)

この曲も1950年代～1960年代の感じを意識してやっています。
伝わるといいんですが・・・伝わりますか？

所々、英単語がでてますが、意識して英単語にしています。
一つだけフランス語がありますが・・・(気にするな～)

やっぱりこういう感じの曲って「アメリカ」って感じがしちゃうわけ。
そこで英単語を並べてみたという安易な考えですわ。

曲を聞いていただいて、楽しくなれそうな気分になればいいんじゃない
かな。

最後に、映画「アメリカングラフィティ」って知ってる？
大好きなんですよ、わたし。